

Total Visual Communication System.

EyeVision

アイ・ビジョン

Ver.4.0

導入前資料

EyeVision (アイビジョン)

- 主な特徴 -

- ・**統合型ビジュアルコミュニケーション**
多彩な通信手段を一つのプログラムに統合
- ・**高画質-高音質**
専用機に匹敵する高画質・高音質を実現
- ・**高セキュリティ**
全てのデータの暗号化(128bitAES)を実現



プレゼンスから始まる

新しいコミュニケーション スタイル

EyeVisionは、従来まで別々に使用されていたビジネスメッセンジャー、ボイス/ビデオチャット、TV会議、ライブストリーミングを一つのプログラム(ID)で統合しました。
また、通信プロトコルもSIPとH.323のマルチプロトコルとし、双方の利点を生かした運用形態を実現しております。

EyeVisionの主な機能

メインメニュー



テレビ電話



ビデオ会議



ビジネス
メッセージャー



メッセージャー (在席確認)



ショートメール(伝言)

映像コミュニケーション



ビデオレポート (映像報告)

ストリーミング (ライブ配信)



Messenger 在席確認 & ショートメール機能

メインメニュー



【 プレゼンス情報 】

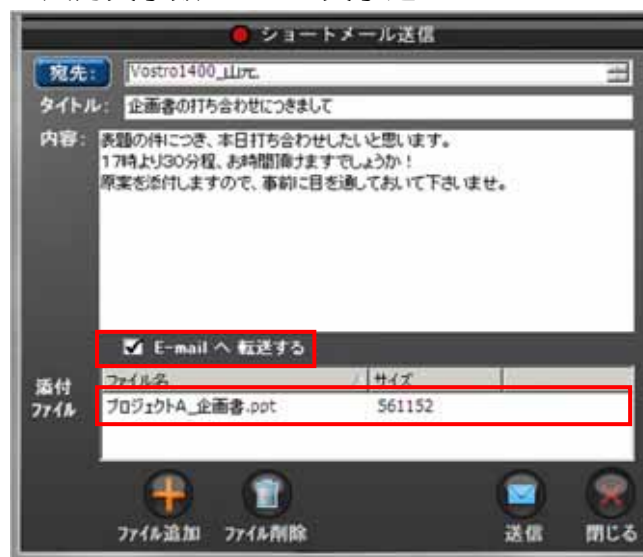
相手の在籍を確認！

相手の状態を確認してアクションが出来ます。
外出している時や会議中なども一目瞭然。

【 ショートメール機能 】

相手を選んでワンクリックでメッセージ！！

入力文字数 = 2000文字迄



【 携帯への連動 】

**不在の相手に対して、Eメールを利用して
携帯端末へのメッセージの転送が可能です。**

- 主な仕様 (携帯連動) -

EyeVision間のショートメールを、所定のEメールアドレスに転送出来ます。
転送情報は、「タイトル」と「内容」になります。
転送先Eメールアドレスは、ID所有者が随時変更出来ます。
チェックを外せば、転送されません。

【 ファイル添付機能 】

ショートメールにファイルを添付する事が出来ます。

- 容量制限 -

ASP型 20MB迄
Rental型、Package型
設定による！



Messenger 1:1 音声通話 & 映像通話

プレゼンス画面



相手を選んで接続

EyeVisionにおける、音声通話・映像通話機能

音声通話・映像通話機能

- ・プレゼンス画面より相手を選んで電話をかける事が出来ます。
- ・音声電話モードと映像通話モードの切り替えが可能です。

VGAモード採用

- ・VGA(640 - 480)モードにより、高品位な2拠点接続会議が可能です。

多彩な記録機能

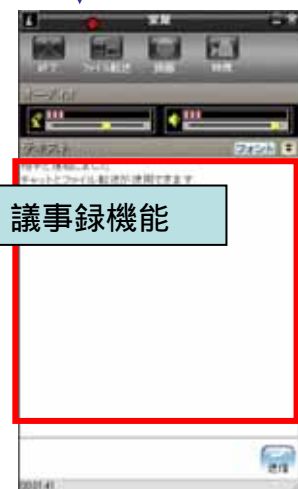
- ・全画面録画・録音が出来ます。 ・テキストチャットを利用した議事録機能がございます。

文章共有機能

- ・ファイル共有機能、 ・ホワイトボード機能、 ・Web共有機能

データは、一旦イメージデータ(JPEG)に変換されます。

- ・アプリケーション共有機能。 Package版限定のオプション機能です。



音声電話モード



TV電話モード



フルスクリーンモード

表示切替

表示切替

テレビ会議 (VideoMeeting) その1 基本機能

会議モード



会議・文章モード



EyeVisionにおける、TV会議機能

高画質フルスクリーン

- ・高画質フルスクリーンにより、専用機のようなビデオ会議システムが可能です。
分割表示数 1、2、4、9、13、16、25分割

多彩な表示モード

- ・用途に合わせて表示モードが選べます。
表示モード 会議表示モード、文章共有モード、会議・文章モード

個別通話機能

- ・会議中に特定の相手との個別通話が可能です。
Sales-point : 個別通話中でも、本会議の議事録は見えます。

傍聴機能

- ・映像及び音声を一方的に視聴する事が出来ます。
- ・参加者リスト及び議事録のみの参加となります。
- ・挙手機能により会議室に入室する事が出来ます。

投票機能

- ・議題に対して「賛成」「反対」の意見収集が簡単に行えます。
- ・この機能は、テキストチャット機能を利用しております。

多彩な記録機能

- ・全画面録画・録音が出来ます。 共通仕様の項を参照願います。
- ・テキストチャットを利用した議事録機能がございます。

文章共有機能

- ・ファイル共有機能、・ホワイトボード機能、・Web共有機能
データは、一旦イメージデータ(JPEG)に変換されます。
- ・アプリケーション共有機能。 Package版限定のオプション機能です。

テレビ会議 (VideoMeeting) その2 多彩な表示モード

フルスクリーンモード



1画面

会議画面



文書画面



共有画面 フルスクリーン



4画面

多彩なフルスクリーンモード

2画面、9画面、13画面、16画面、25画面

会議・文書 画面



セールスポイント
- 表示モードの同期について -
主催者の表示モードに、各参加者及び傍聴者の画面が同期します。
また、任意のPCの同期を外す事も可能となります。

主催者 or
制御権保持者

参加者
傍聴者



- ・多彩な表示モードを備えております。
- ・画面表示は、完全同期しております。

共通機能 録画・再生機能

録画ボタンを押して全画面録画



映像通話、ビデオ会議における、録画・再生機能

全画面録画が可能です。

・録画対象は画面全体となりますので、フルスクリーン画面や文章共有画面を全て記録できます。

・音声は、全拠点の音声録音されます。

録画データは、SKM形式となります。

・デフォルトの録画形式はSKM形式(EyeVisionオリジナル)となりますので、追加や削除といった改ざんが出来ない仕様となっております。

再生は、Windows Media Playerで行います。

・EyeVisionのインストールされたPCで再生が可能です。

変換プログラムにより、WMV形式への変換が可能です。

・WMV形式に変換後は、編集やVOD化が容易に行えます。

Windowsメディアプレーヤーが起動して再生！



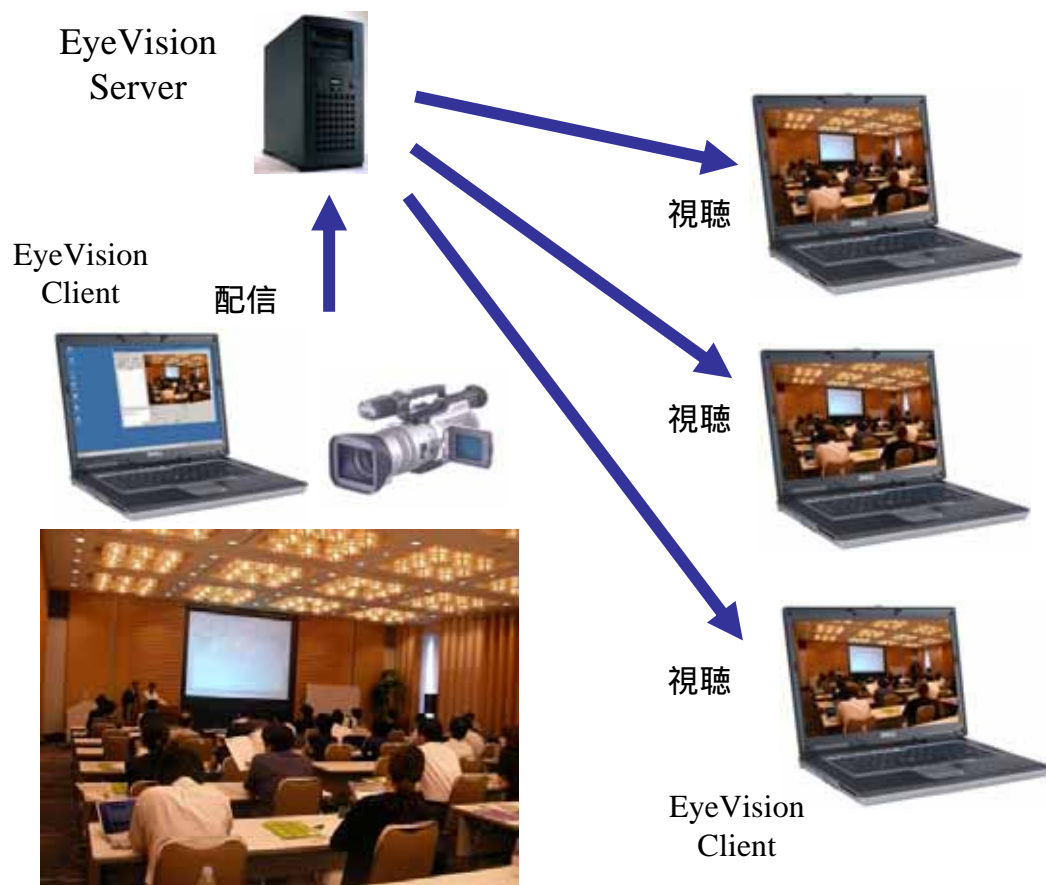
メインメニューより「録画リスト」を選択



録画リストより「録画データ」を選択して再生

Streaming(ストリーミング) [一方向映像配信]

社長の訓示や社内セミナーの様を、
簡単に配信及び視聴出来ます。



社長の訓示 or セミナー会場等

主な特徴

遅れの無いクリアな画質・音質

配信側から受信側への映像の遅れは約0.3秒であり、
全ての視聴端末において映像のズレはございません。

参加人数

EyeVisionのログインユーザーが参加対象となります。
同時参加拠点数は、100拠点位までを想定しております。

録画・録音機能

配信側及び視聴側で映像及び音声の録画・録音出来ます。
録画形式はS KM形式(EyeVisionオリジナル)ですが、変換
プログラムによりWMV形式への変更が可能です。

文字チャットによる配信側と受信側のコミュニケーション

映像及び音声の受信状況の確認が簡単に行えます。

発言権機能による視聴者側からの音声参加

視聴者側の音声を配信映像に載せる事が出来ます。

画面イメージ(通常画面)



画面イメージ(フルスクリーン)



この機能は、サーバーレンタル型及びパッケージ販売型での提供となります。

VideoReport 機能 [ビデオ報告機能]

映像・音声及びコメント文を簡単に作成して
ショートメール形式で転送出来ます。



応用例
営業マン実績報告
製造業での商品を写しての報告
相手が不在の場合のビジュアル
コミュニケーション

ビデオ報告作成画面



主な特徴

相手が不在でも可能な映像コミュニケーション
データは、一旦サーバーで蓄積されます。

回線帯域に依存しません
海外等の細い回線でも高品位な映像と音声を送れます。

転送方法
EyeVisionショートメール形式に変換して転送します。

録画データの形式
SKM形式(EyeVisionオリジナル)で録画されます。
変換プログラムによりWMV形式への変更が可能です。

録画データのサイズ
5分の録画データで、約15MBです。

受信側での再生
WindowsMediaPlayerでの再生となります。

ビデオ報告再生画面

送信



EyeVision
Server

受信



EyeVision機能一覧

機能	Messenger テレビ電話	Video Meeting 双方向会議	Streaming 1方向 映像配信	VideoReport ビデオ報告
映像コーデック	MPEG4			
画像サイズ(VGA)		-		-
画像サイズ(1/4VGA)				
画像サイズ(CIF)			-	-
フレームレート数	2,3,5,6,10,15,30	2,5,10,15	2,5,10,15,30	
帯域指定機能	32,64,128,256,512,1024 ,	32,64,128,256,512,	64,128,256,512,1024 ,	
音声コーデック	低音質(G729A),中音質(iLBC),高音質(G711)			
ホワイトボード機能			-	-
ファイル共有機能			-	-
Web共有機能			-	-
アプリケーション共有機能	オプション	オプション	-	-
録画機能				
ファイル転送機能		-	-	
最大参加人数	2	256	100	1

動作環境

動作環境(サーバー)

OS	2008Server(32bit),VISTA(32bit)
CPU	Core2Duo 2.0GHz以上
メモリ	2GB以上
HDD	10GB以上
ソフト	Java1.6、メール送信にSMTPサーバ
回線	Bフレッツ Basic以上 (20Mbps以上)

タワー型



ラックマウント型



動作環境(クライアント)

	必須	推奨
OS	WindowsXP	WindowsXP[SP2] WindowsVISTA[SP1]
CPU	Celeron1.2GHz以上	Core2Duo2.0GHz以上
メモリ	512MB以上[XP]	1GB以上[XP] 2GB以上[VISTA]
回線帯域(下り)	256Kbps以上	1Mbps以上
モニタ解像度	XGA(1,024 - 768)以上	
サウンド	入出力機能を備えたサウンドカード	
使用ポート[通常]	TCP[5060][9001 ~ 9004],UDP[5060][10000 ~ 11000]	
HTTPトンネリング時	TCP[80] or TCP[443]	
その他	Microsoft DirectX9.0以上, MFCライブラリ4.2	

デスクトップ型



ノート型



3つの導入パターン

ASP型

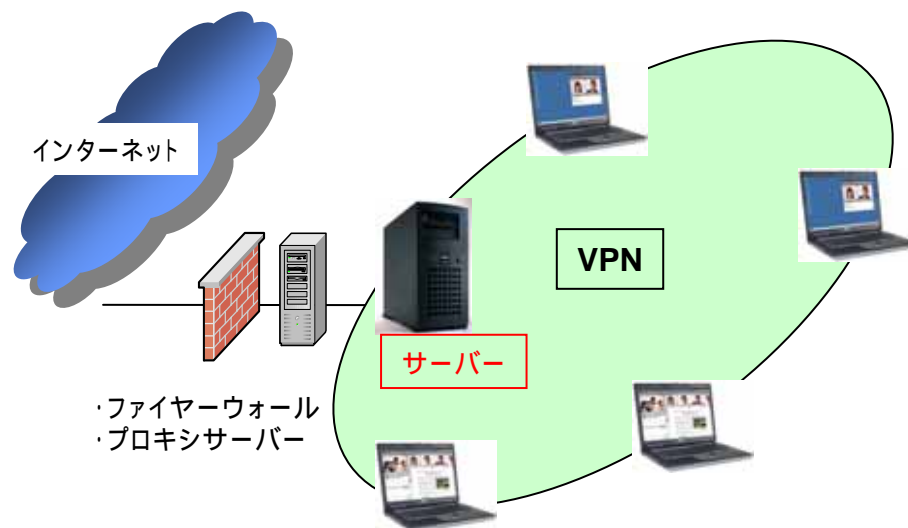
Package販売型 / Rental型



ASP型

- 接続形態 -
インターネット上のASPサーバーへのアクセスとなります。
- 契約形態 -
月々の利用料での契約となります。

*ソフト価格につきましては、別途問い合わせ下さい。



Package販売型

- 接続形態 -
イントラネット内のサーバーへのアクセスとなります。
- 契約形態 -
Packageソフトの売り切りとなります。
別途、保守料が発生致します。

Rental型

- 接続形態 -
イントラネット内のサーバーへのアクセスとなります。
- 契約形態 -
月々の利用料で、専用サーバーをレンタル致します。

契約前の注意事項（その1）

<サーバー用PCの利用における注意事項>

1. MACアドレスに対応したKeyコードの取得が必要です。
インストールの前に、ユーザー登録及びKeyコードの取得を行って下さい。
Keyコードの取得には、インストール用PCのMACアドレスが必要となります。
保守契約ユーザー様に対しましては、サーバー用PC入れ替え時のKeyコードの再発行をお受け致します。
2. 回線の品質による影響。
安定性を求めるお客様は、Bフレッツ(ビジネス相当)以上を推奨致します。
Bフレッツ(ベーシック)の場合は、回線不安定によるTV会議の異常停止の可能性のある事了承願います。
3. メール連動機能をお使いの場合
メールサーバーが別途必要となります。
4. イン트라ネット内に設置し、インターネットからの接続を可能にする場合
グローバルIPが1つ必要となります。
サーバーは、DMZにおいて下さい。

<クライアントPCの利用における注意事項>

1. 業務用PCをお使いの場合の注意点
PCと映像・音響周辺機器及びインターネットを使ったWeb会議システムは、通常のシステムと違い非常に複雑な処理が伴います、その為に相性問題が出やすい状況に有る事をご理解下さい。
検討段階において、貸し出し用IDによる動作確認を推奨致します。
PCに負担の掛かる業務用アプリとの併用は御遠慮下さい。
ウィルス対策ソフト等の自動アップデートが裏で動きますと、品質が著しく低下致します。
ハードウェアも含めたサポートをご希望の場合は、別途販売店様とのメンテナンス契約を御検討願います。

契約前の注意事項（その2）

<クライアントPCの利用における注意事項>

2. Webカメラの運用に関して

PCのUSBポートにダイレクトに接続願います。

不要なUSBデバイスは極力外す事を推奨致します。

USBケーブルの延長等を行わないで下さい。

安定動作しない場合は、他のUSBポートで試してみてください。

で効果の無い場合は、ドライバーの再インストールを行ってみて下さい。

でも厳しい場合は、動作確認済みのカメラと交換する事を推奨願います。

3. サウンド設定に関して

PC本体のサウンドカードが不安定な場合は、外付けのUSBアダプター(2,000円~6,000円位)との併用を御検討下さい。

USB接続タイプの音響機器を利用する場合は、USB帯域オーバーを回避する為にUSB2.0HUBを中継させる事を推奨致します。

4. 無線LANに関して

動作不安定等の問題が起こった場合は、有線LANに切り替えてみてください。

サポートの対象は、有線LANでの動作不具合に対して行わせて頂きます。

5. ファイヤーウォール、プロキシサーバーの設定に関して

相性問題がございますので、完璧では無い事を了承願います。

環境チェックプログラムによるチェックを推奨致します。

最後に

統合的なコミュニケーション基盤を企業の競争力の源泉へ

企業のコミュニケーション環境は飛躍的に発展し、電話はもちろん、インスタントメッセージ(IM)、テレビ会議などの多様なコミュニケーション手段を、時間や場所の制約を受けずに利用できる環境が整いつつあります。

しかし、個々のコミュニケーション手段を独立して運用している環境では、状況に応じてそれらを使い分けなければならない。場合によっては不在の相手に何度も連絡し直し、そのつど作業の手が止まり、生産性を低下させてしまうこともある。

そこで注目されているのがユニファイド・コミュニケーションであります。

必要な時に必要な相手と最適な手段でコンタクトをとり、コミュニケーションを行う事が出来るようになります。

こうしたメリットが理解されるようになった現在、企業のユニファイド・コミュニケーションに対する期待も高まっています。

日経コミュニケーション 2008.3.8 P62

高品位ビジュアルコミュニケーション
+ ユニファイドコミュニケーション

EyeVision